

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年 3月 29日

仕事の内容	老人クラブ育成事業			
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係 課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書(ページ)	51	

予算名	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業	13	老人クラブ育成事業
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	-------	----	----	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 連合会及び市が準拠している東京都の運営要綱に定める要件を満たしている単位老人クラブ(適正クラブ)	→	① ①の対象数や量を、あらかずもの(対象指標) 市内の小地域を単位としたおおむね60歳以上の高齢者30名以上で組織する団体。
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 社会奉仕活動、いきがいを高める活動、健康を進める活動、その他の地域社会活動を通じて、社会参加をしている自覚や喜び、いきがいを見出す。	→	② ②の状態になった数・量をあらかずもの(成果指標) 単位クラブ 16クラブ 852人 連合会 338人 ※いずれも平成29年4月1日時点の数値
	③ そのために何をしましたか。 老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し、社会活動促進を目的とした市補助金を交付する。それにより、会員同士の交流やクラブ活動の活性化が図られ、高齢者福祉の向上を図ることができる。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 活動指標と同数で設定。

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	不明	不明	不明		
	成果指標	②の数値	人	863	852	888		
	目 標	②の目標値	人			852	888	888
		目標値設定の考え方	会員同士の交流やクラブ活動の活性化を図るためにも会員数の減少を抑える。					
活動指標	③の数値	人	863	852	888			

3 経費	事業費(実績)		円	5,537,052	5,497,746	5,633,822	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	2,322,052	2,152,746	2,352,822	
		特定財源	円	3,215,000	3,345,000	3,281,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
事業費+人件費		円	7,190,452	7,148,346	7,282,622		

この仕事における市の裁量	市の裁量は大い
--------------	---------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 老人クラブは昭和25年ごろに東京や大阪で発生したといわれ、同32年に都の社会福祉協議会が老人クラブへの助成事業を開始した。当市では昭和36年に最初のクラブである南街長寿会が発足し、現在は17クラブが活動を行っている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 全国的な傾向ではあるが、平成9年度をピークに会員数が減少してきた。しかし、今後、さらに進展する高齢化や地域コミュニティの重要性が見直されてきている中で、会員数の増加が求められている。

仕 事 の 内 容	老人クラブ育成事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	高齢者人口は増加傾向にあるが、会員数の減少や役員の後継者不足などの問題に直面しており、このような状況を改善するため、行政の支援が必要であるという声がある。					
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容					
	会員の高齢化、会員数の減少					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	各老人クラブの紹介記事を市報に掲載し、新たな会員の確保を図った。					
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
	特になし					
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	現状維持が妥当である					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
各老人クラブと掲載内容等について調整を行う。						
(3)改革・改善案による期待成果						
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。						
成果	成果を向上させる。				経費	仕事の経費は維持する。